

地域県土警察常任委員会資料

(令和7年6月26日)

[件 名]

- 鳥取県立美術館の企画展の開催状況等について
【美術館】・・・2ページ
- 人権尊重の社会づくり相談ネットワークの運用状況について
【人権・同和対策課】・・・4ページ
- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【文化政策課】・・・6ページ

地域社会振興部

鳥取県立美術館の企画展の開催状況等について

令和7年6月26日
美 術 館

県立美術館の開館記念展「アート・オブ・ザ・リアル～若冲から、ウォーホル、リヒターへ」の会期中（3月30日から6月15日まで）、利用者は10万人を超え、5万人以上の方にご観覧いただきました。ブリロ・ボックスをご覧いただけるコレクション展や夏休みに開催する次の企画展等についてご報告します。

1 「アート・オブ・ザ・リアル～若冲から、ウォーホル、リヒターへ」について

(1) 観覧者数（開館日3月30日（日）から6月15日（日）までの集計）

期 間	利用者数	うち、企画展・コレクション展観覧者数
3月30(日)～6月15日(日)	103,626人	54,609人 ※企画展・コレクション展 50,810人 ※コレクション展のみ 3,799人

※5月5日（月・祝）の利用者5,562人（1日当たりの最高値を記録）

※ゴールデンウィーク期間中4月26日（土）～5月6日（火）の利用者24,033人（館外イベントを含む。）

(2) 実施概要

① 展覧会の概要等

- ・開館記念展は県立美術館のオープニングを飾るものとして、江戸期から現代、国内外、さまざまなジャンルの名作約180点を集め、3階の企画展示室に2階のコレクション展示室2部屋を加えて、山陰ではこれまで開かれたことのない大規模な展覧会とした。

② 来館者アンケート

- ・アンケート結果では、「とても良かった」「良かった」が6割強あるほか、自由記載欄では、多くの作品を地元で見ることができたことに対し、驚きの声などがあつた。

企画展に関するアンケート回答数（開館日3月30日（日）から5月25日（日）までの集計）

選択肢	とても良かった	良かった	普通	よくなかった	無回答	計
回答数 (率)	947枚 (36.5%)	726枚 (27.9%)	492枚 (18.9%)	137枚 (5.3%)	296枚 (11.4%)	2,598枚

- ・藤田嗣治の《アツ島玉砕》をここで見られるとは思わなかった。良かった。
- ・ギュスターヴ・クールベの《波》を小学生のときに確か県立博物館で見て、国立西洋美術館で見て、そしてここで見られて感無量。
- ・クロード・モネ《シヴェルニーの積みわら・夕日》など、幅広く美術の名作を一度に見ることができて感激。
- ・絵画との距離がとても近くリアルに見ることができた。写真撮影もできてアートが身近に感じられた。
- ・《ブリロ・ボックス》が芸術か否かの論争が起こること自体がウォーホルの狙いどおり。素晴らしいことだと思う。 など

2 《ブリロ・ボックス》保有に関するアンケートについて

(1) アンケート回答数（開館日3月30日（日）から6月8日（日）までの集計）

選択肢	1. 今後も保有・展示を続けてほしい	2. もっと説明を充実させて議論が巻き起こるようにしてほしい	3. 疑問を感じたので保有を続けるかどうか検討してほしい	4. その他（選択無しを含む）	計
回答数 (率)	1,198枚 (39.9%)	680枚 (22.6%)	567枚 (18.9%)	561枚 (18.6%)	3,006枚

[評価する意見]

- ・この“箱”へのまなざしそのものが、当たり前や既成概念への批判的再考につながると思う。県立美術館が保有していることそのものに希望を感じる。
- ・大阪中之島美術館もモディリアーニ(約20億円)を買った時いろいろ言われたが、今では誇れるコレクションになっている。

[説明の充実・議論の喚起を求める意見]

- ・なぜ鳥取県立美術館にあるのかをいろいろな切り口(テーマ)で解説して欲しい。
- ・“美術”が日常に近いものと伝える伝道師の役割ができる気がする。説明やイベントがあると良いと思う。
- ・いろいろな意見がありますが、まず作品を見て、何を感じたか整理し、周りの人にその感じたことを伝えることが大切だと思う。

[見直しを求める意見]

- ・もっと県ゆかりの作品を集めて欲しい。誰のための美術館か考えて欲しい。 など

(2) 今後の実施方針

- ・来館者を対象とした《ブリロ・ボックス》の保有是非のアンケートは、開館後3年程度実施することとしているが、アンケートの回答状況から、一定の結論が得られたと認められる場合には期間を短縮することを検討していく。

3 今後の《ブリロ・ボックス》の展示計画

年間を通じて《ブリロ・ボックス》をご覧いただけるよう、県立美術館及び県立博物館での展示を計画している。(展示替えにより鑑賞できない時期あり)

会 期	展示室等	コレクション展のテーマ
6月28日(土) ～8月31日(日)	コレクションギャラリー 1	特集 現代美術 LIFE この世界で生きること
8月5日(火) ～9月28日(日)	コレクションギャラリー 3	辻晋堂の世界03 アジアの染織02 岡村コレクションから
10月9日(木) ～12月7日(日)	コレクションギャラリー 3	ブリロとモリロ(仮)
12月16日(火) ～令和8年2月11日(水祝)	コレクションギャラリー 3	現代の彫刻－新しい表現を創造するアーティストたち01 近世・近代の陶芸
令和8年2月21日(土) ～4月19日(日)	コレクションギャラリー 3	現代の彫刻－新しい表現を創造するアーティストたち02 現代の陶芸
令和8年2月28日(土) ～3月22日(日)	鳥取県立博物館	江戸絵画から《ブリロ・ボックス》まで－鳥取県があつめた美術コレクションのバリエーション！－(仮)

4 夏休み期間中の企画展等

(1) 企画展

- ・水木しげるの妖怪 百鬼夜行展～お化けたちはこうして生まれた～

会期：7月19日(土)～8月31日(日)

※休館 月曜日(7月21日及び8月11日は開館)、7月22日(火)

※夜間開館 7月19日(土)、20日(日)、8月2日(土)、9日(土)、10日(日)、
30日(土)、31日(日)は午後9時まで

会場：3階企画展示室

- ・(関連展示) 光のインスタレーション《雲の故郷へ》(アートプロジェクト：高橋 匡太氏)

会期：企画展と同じ

会場：1階ひろま

(2) 企画展関連プログラム

- ・ギャラリートーク付先行特別鑑賞会(講師：水木プロダクション 原口 尚子氏)
- ・講演会「妖怪から紐解く山陰～水木しげると小泉八雲のまなざしから～」
(講師：小泉八雲記念館館長 小泉 凡氏)
- ・妖怪Tシャツづくり・妖怪ブローチづくり・巨大な妖怪を飛ばそう！ワークショップ
(講師：ひびのこづえ氏)
- ・ダンスパフォーマンス《ヨーカイ YOKAI》
(衣装：ひびのこづえ氏)(振付・演出：島地 保武氏)(音楽：小野 龍一氏)
(パフォーマー：オーディションに集まったダンサーのみなさん)



企画展や関連プログラムの詳細は、こちらからご覧ください。

人権尊重の社会づくり相談ネットワークの運用状況について

令和 7 年 6 月 2 6 日

人 権 ・ 同 和 対 策 課

人権問題を救済する観点から、県では平成 21 年から人権尊重の社会づくり相談ネットワークとして県内 3 カ所で相談窓口を設置しているところです。令和 6 年度の運用状況を、以下のとおり報告します。

1 相談件数（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日）

令和 6 年度の相談件数は、1,328 件と前年度に比べ 146 件増加した。

相談内容の主なものは、労働者 延 580 件、病気の人 延 544 件、障がい者 延 429 件となっており、同一の方からの繰り返しの相談が多い。

<参考>

① 受付機関別

(単位：件)

	R6	R5
人権尊重社会推進局	647	664
中部県民福祉局	307	240
西部県民福祉局	374	278
計	1,328	1,182

② 相談形態別

(単位：件)

	R6	R5
面接	69	67
電話	1,246	1,105
封書等	13	10
計	1,328	1,182

2 相談窓口の対応状況

人権相談窓口において、専門的知見を活用しながらその相談に応じるとともに、当事者の相互理解と自主的な取組による解決を促進するため、相談者への助言及び情報提供、国、県、市町村等が設置する相談機関やその他の関係機関の紹介、関係機関と連携した相談者の支援、その他相談者及び関係機関に対する必要な支援を行った（対応結果は以下のとおり）。

(単位：件)

対 応 結 果	件 数
1 助言を相談者が検討することで終了	1,067
2 具体的対応の希望なく、傾聴して終了	175
3 継続	48
4 関係機関と連携して解決	10
5 対応不能（相談に具体性がない、違法な主張等）	25
6 行政による対応不能（訴訟案件）	2
7 自主的に解決するため取下げ	1
計	1,328

主な相談事例

支援類型	具体例	
	相談分野	対応状況
① 相談者への助言・必要な情報の提供 〔問題を整理し、解決のために必要な情報等を提供〕	労働者	職場の同僚からネットでの代理注文を頻繁に頼まれて困っているとの相談。 ⇒他人のために相談者のクレジットカードを使用すること、決済や返済に関する危険性について情報提供を行った結果、代理注文を断ることとされた。
	障がい者	精神障がい者が、最寄りの携帯電話ショップに切替手続きを希望していたが、店員の対応に不安があった。 ⇒相談員が店員にあらかじめ障がいがあることを伝えた上で対応を依頼するよう助言したところ、後日、店員から丁寧な対応がなされ、相談者の不安が解消し切替手続きが完了した。
② 関係機関への取次 〔相談内容を整理してまとめ、関係機関へ取り次いで解決を促進〕	障がい者・労働者	視覚障がい者から、点字ブロックの除雪が十分でないとの相談。 ⇒担当部署に相談内容を整理して取り次いだ結果、担当部署において点字ブロックへの除雪対応について改めて注意喚起がなされた。
	その他	公道でゴミ拾い等の清掃ボランティアに励んでいるが、住民のボランティアへの心ない声や偏見に悩んでいるとの相談。 ⇒相談内容を整理し、気持ちよく清掃ボランティアができるようにして欲しいとの要望を関係機関に伝達したところ、関係機関で解決が図られた。
③ 関係機関と緊密に連携した支援 〔関係機関職員等と対応策を検討しながら解決を促進〕	病気の人	病気のため働けず生活保護を受けているが、電気代が払えず電気を止められそうで困っているとの相談。 ⇒相談員が鳥取社会生活サポートセンターに連絡し確認した結果、センターが「一旦は電気代を立替払いし、支援を行う」とのことであり、相談者に伝え解決に導いた。
④ 当事者に伝達 〔相談内容を伝達し、解決を促進〕	障がい者	精神障がい者から、ある漁協で遊漁券を購入しようとしたが、障がい者割引が対象外とされ、他の漁協では割引適用されており不公平との相談。 ⇒相談員が当該漁協に連絡し相談内容を伝達したところ、漁協が障がい者割引に係る規則改正について検討をされることとなった。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

地域社会振興部

主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契約年月日	摘 要
文化政策課 〔中部総合事務所 環境建築局〕	エースバック未来中心アトリウム・ セミナー棟防水改修工事	倉吉市 駄経寺町	株式会社フジシール工業 代表取締役 藤原 宏行	149,160,000円 (予定価格) 162,580,000円	令和7年5月26日 ～ 令和8年3月18日	令和7年5月26日	制限付 一般競争入札 (4社)